



ハワイはアメリカで何番目の州なの

50番目の州

ハワイ州は、1959年8月21日に、アメリカ合衆国の一つの州になりました。同じ年の1959年1月3日に、49番目の州となったアラスカについて、50番目の州となったのです。

ハワイは、19世紀にカメハメハ大王が統一王朝をつくったのですが、1898年にアメリカはハワイ諸島をへい合し、1900年には準州、1959年には50番目の州としました。ハワイ州の州都ホノルルでは、そのころのハワイ王国のカメハメハ大王の銅像が見られます。

アメリカ合衆国は、全部で50州

アメリカ合衆国は1776年に独立しましたが、そのときの州の数は13でした。その後、その数は増え続け、現在、アメリカ合衆国は50の州と一つの特別区（首都ワシントンがある）からなりたっています。

アメリカ合衆国の国旗を見ると、星の数が50個ありますが、これは合衆国を構成する50州を表しています。これまでに、州の数が増えるごとに国旗の星の数も増えてきました。ですから、アメリカ合衆国の国旗のデザインは、州が増えるたびに星の配列をくふうしてきました。（監修・保岡 孝之）

